

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃
----	------	----	-------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制

その他を選択した場合

芸術文化団体の概要

制作団体名	こうえきざいだんほうじん えどいとあやつりにんぎょうゆうきざ 公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座		
代表者職・氏名	代表理事・田中克昌		
制作団体所在地	〒184-0015 東京都小金井市貫井北町3-18-2		
電話番号	042-322-9750	FAX番号	042-322-3976
公演団体名	えどいとあやつりにんぎょうゆうきざ 江戸糸あやつり人形結城座		
代表者職・氏名	座長・十三代目 結城孫三郎		
公演団体所在地	〒184-0015 東京都小金井市貫井北町3-18-2		
制作団体 設立年月	2009年 12月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 田中克昌(両川船遊) 理事 大笛吉雄 理事 ボイド眞理子 評議員 湯沢英彦、青山司、板坂則子	演技部 8名 美術部 2名 制作部 5名 古典と新作の両輪をもって江戸糸あやつり人形芝居の在り方を追求し、実を持って行動できる者。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	小立廉、糸倉梢恵
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	和田光

制作団体沿革	<p>江戸時代の寛永12年(1635年)に初代結城孫三郎が創設。現在の十三代目結城孫三郎まで386年の歴史を持ち、「国の記録選択無形民俗文化財」及び「東京都の無形文化財」に指定されている伝統ある糸あやつり人形劇団。現在では古典の継承発展のみならず、新作、写し絵など公演活動の場を拡げ、これらに対して、芸術祭文部大臣賞、東京都知事賞など数々の栄誉を受ける。</p> <p>また海外公演や国際共同制作も積極的に行っており、ベオグラード国際演劇祭では「マクベス」で特別賞と自治体賞を受賞、日仏国際共同「屏風」では、パリの国立劇場コリーヌ劇場を皮切りにヨーロッパ各地を6年間に渡り約50公演巡演し、2007年アビニヨン演劇祭のオープニングに招聘されるなど、国内外において高く評価されている。(2007年アビニヨンにおいては、古典公演「綱館、本朝廿四孝」も同時に招聘され、結城座の古典と新作両方の活動に高い評価を得た。) 平成21年12月18日に公益財団法人の認定を受ける。</p> <p>令和3年6月、結城数馬が十三代目結城孫三郎を襲名。</p>			
学校等における公演実績	<p>戦後、昭和21年より学校視聴覚教育のため日本の劇団で初の小中学校巡演を開始し、青少年育成活動を積極的に行ってきました。今回申請している伝統芸能の古典演目を中心に、学校及び会館にて1万回以上の公演実績があります。</p> <p>学校公演としては、平成20年度小金井市内小学校6校巡演。平成21年、22年度と小金井市において小、中学生に20回にわたる江戸糸あやつり人形の体験学習授業を実施、生徒たちによる糸あやつり人形発表会開催を指導。その他令和元年までに、桐蔭学園初等部・中等部、千葉日本大学附属小学校、文京区第五中学校、高松市内小学校2公演、浦和ルーテル学院小・中・高、千葉県鎌ヶ谷小学校、さいたま市片柳小学校、恵泉学園中等部、昭和女子大学、東京学芸大学、女子美術大学など。人形の解説と体験付きの、古典演目の上演が中心。</p> <p>平成 6年 「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」「伊達娘恋縛鹿子」 2公演 「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」「伊達娘恋縛鹿子」 5公演 平成 7年 「オズの魔法使い」 4公演 平成 8年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「うさぎのおんがえし」 1公演 「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」 1公演 平成10年 「昭和怪盗伝」 1公演 / 古典 3公演 平成11年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」2公演/「寿獅子」「オズの魔法使いたち」2公演 平成11年 「三番叟」「オズの魔法使いたち」1公演 平成12年 古典公演 1公演 平成14年 「文七元結」「寿獅子」 1公演 平成15年 「伽羅先代萩」2公演/「三番叟」「弥次喜多道中記」「杜子春」「寿獅子」「証誠寺の狸ばやし」2公演 平成16年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」他 7公演 平成18年 「寿獅子」「弥次喜多道中記」「杜子春」 1公演 「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」 6公演 平成19年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」 1公演 「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」解説、体験付 4公演 平成20年 「三番叟」「証誠寺の狸ばやし」「寿獅子」「杜子春」5公演/「糸あやつり人形の世界」 1公演 「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」解説、体験付 4公演 平成21年～29年 「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」解説、体験付 14公演 平成29年 親子で楽しむ 人形メリーディング「あらしのよるに」 1公演 「三番叟」「寿獅子」 3公演 「伊達娘恋縛鹿子」「伽羅先代萩」「本朝二十四孝」 2公演 「文七元結」 3公演 平成30年 「千人塚」「寿獅子」 4公演 令和2年 「東海道中膝栗毛」(新内語りでの上演は2～30年振り)「本朝廿四孝」 7公演 令和3年 「寿獅子」「伊達娘恋縛鹿子」「東海道中膝栗毛」 6公演</p>			
特別支援学校における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年 小金井市 小学校 3校(通常クラスとの合同にて、体験と鑑賞実施) ・平成30年 北海道 札幌市 豊成養護学校 1校 ・令和元年 東京都立墨東特別支援学校 本校 小学部・中高部/病院内分校 3校(計5公演) ・令和2年 東京都立足立特別支援学校 1校(計3ステージ) ・令和3年 東京都立調布特別支援学校 1校(体験) 			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/8SLe6hglekk (限定公開につき、取扱にご注意ください)	
	Aの提出が困難な場合	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード	ID:	
		PW:		
		今回申請する演目に近い演目で公演の様子が わかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび パスワード		ID:		
		PW:		

公演・ワークショップの内容

対象	-	小学生(低学年) ○	○	中学生	
	○	小学生(中学年) ○			
	○	小学生(高学年) ○			
企画名	江戸糸あやつり人形の世界 ~江戸文化を楽しもう!~				
本公演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>人形と演目の解説・『寿獅子』・『伊達娘(だてむすめ)恋姫麻子(こいひがのこ) 火の見櫓(ひのみやぐら)の場』・『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』</p> <p>人形と演目の解説(15分) 『寿獅子』(5分) 『伊達娘恋姫麻子』(15分)原作 河竹黙阿弥／義太夫 竹本京 休憩15分 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』(40分) 原作 十返舎一九／作詞・作曲 富士松魯中(新内節)／弾き語り 新内多賀太夫 構成・監修 十二代目結城孫三郎</p>				
	公演時間(90 分)				
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況	
演目概要	<p>●『寿獅子』 結城座に最も古くから伝わる演目一つ。 厄を払い、福を呼び込むといわれ、お正月や祭りで舞われる獅子舞。 のどかな獅子、蝶を追う獅子、逃げられて怒り狂う獅子など様々な舞をお楽しみいただけます。</p> <p>●『伊達娘(だてむすめ)恋姫麻子(こいひがのこ) 火の見櫓(ひのみやぐら)の場』 江戸時代の実話をもとに作られた名作芝居。「八百屋お七」、人形浄瑠璃としても有名で、歌舞伎では「人形振り(人形浄瑠璃の人の形の動きを真似して感情を表現する)」で演出されます。 八百屋の娘お七の恋人吉三郎は主人が殺された名刀「天国(あまくに)の剣(つるぎ)」のために、追い腹(腹を追って切腹すること)に。お七は吉三郎の命を救うため、岡山(おかやま)手にした天國の剣を手渡すと、火刑を覚悟で法を犯し、火事を使らせる火の見櫓の太鼓を打ち鳴らして閉まっていた町々の木戸を開かせます。雪の夜の美しい名場面、美しい女性の二途な恋心に心を惹かれる作品です。</p> <p>結城座では九代目結城孫三郎以降、代々の孫三郎の十八番の当たり狂言として継承され、人気をされています。今回は、「天国の剣」を盗んだ湯瀬場吉三と弁長が争う場面も上演いたします。 なお、義太夫は故竹本京の語りで、太夫と三味線彈きは人形で登場します。</p>				
演目選択理由	<p>●『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』 江戸時代大ベテランだった十返舎一九の滑稽本、そのヒットに伴い新内節や歌舞伎でも取り上げられ、人形芝居にもなりました。現在でも「弥次さん喜多さん」として人気が高く、映画やドラマでも親しまれています。 江戸をはじめこれから食いつめた弥次郎兵衛と喜多八は、上方に向かって春名旗を続けている。赤坂並木(東海道五十三次の36番目の宿場「赤坂宿」)現在の愛知県豊川市赤坂町)を通りますと、酒肆利と下駄の子供が走ります。二人を一つ目小僧と間違えて、こらしめよう打ち叫んでいたところ、その親爺が現れ「わが子に何をいやがると」と弥次郎兵衛の首をしめ、弥次郎兵衛は気絶をしてしまう。親爺は身ぐるみをはぎ、そこにあった絹帷子を着せて立てる。息を吹き返した弥次郎兵衛は自分が死んだと思い、嘆き悲しむのであつた。 結城座では江戸時代と同じく、軽妙洒脱な生の新内弾き語りにて、江戸糸あやつり人形の繊細な技、人形ならではの仕掛け、江戸前丁々発止の台詞のかかけ合い等を体感できる、結城座を代表する古典演目の一つ。今でも親しみやさしく江戸の市井の様子、江戸庶民の生活風俗が描かれており、江戸文化を象徴する名作です。 2020年の自主公演「孫三郎、第一回古典小劇場」にて、新内弾き語りによる20数年振りの復活公演となりました。生の新内弾き語りによる江戸時代当時の上演スタイルにて、歌川広重の「東海道五十三次」を編集したデジタル映像を舞台に投影し、臨場感を高めた演出を加え、若者にも「古典がこんなにおもしろいとは」と評判を呼びました。中学・高校の社会の教科書に江戸の庶民の文化として登場するこのタイトルを、子どもたちが身を持って体験できる貴重な機会となると考えます。</p> <p>●『寿獅子』 江戸糸あやつり人形の伝統芸を両川船遊(十二代目結城孫三郎)及び十三代目結城孫三郎の糸さばきで身边にご覧頂き生徒の皆様に体感して頂きます。 ・おめでたい行事でおなじみの獅子舞を、糸あやつりならではのダイナミックな動きで楽しめて頂けます。一人の人形遣いが、獅子頭と、幟をかぶった2人の獅子遣いの3体分を扱う、超絶技巧ともいえる道い方などございます。</p> <p>●『伊達娘恋姫麻子 火の見櫓の場』 ・男形人形と女形の人の形(じし)を表現するために機構が違っています。その違いを実際に解説で学んだ後で、孫三郎十八番の美しい女形をご覧いただくことで「女性的」なしなやかな体のしなりや、織細な足の運びの表現が可能となっています。その違いがより深く理解でき、江戸糸あやつり人形の歴史的で織細な技を体感していただけます。 ・物語のクライマックスで「肌脱ぎ」という着物の袖から片腕を引き抜き、右上半身を襦袢姿で太鼓を打ち鳴らすという伝統的な古典の表現も体感していただけます。糸あやつり人形で「肌脱ぎ」をするのに特に特別な仕掛けと技量が必要です。人形がひとりでに脱いだらどのような驚きも子供たちの創造性への刺激となると考えます。</p> <p>●『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』 ・基本的な人形と、ゴカカルな掛け合いで仕掛けの楽しさで、江戸の庶民のいる雰囲気を体感していただけます。 ・中学生では歴史や国語の古典の授業の題材として扱われる「東海道中膝栗毛」の一部を江戸情緒溢れる江戸糸あやつり人形を通して体験することで、特に深い親しみを持って、学習内容を理解することが期待できます。 ・古典の人形芝居の舞台に浮世絵のデジタル映像が投影されることによって現代的な技術との融合による相乗効果を体感し、古いものも現代のものも文化として受け入れ、芸術文化への興味を深め高める基礎を築くことが期待できます。 ・江戸糸あやつり人形に生の新内弾き語りが加わり、江戸の当時の上演形態でのレパートリー定着化が期待されています。そのような本格派の古典演目を鑑賞し、自らも公演に参加することを通じて、子供たち自身が伝統を継ないで担い手の一員であるという意識を育てていきます。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>●ワークショップ体験形態 江戸時代、庶民から愛された江戸糸あやつり人形の歴史、江戸の知恵と文化が詰まった人形の機構を解説し、その後実際に子供たちに人形をあやつる体験をしていただきます。 人形遣いが子供敷に対する一人ずつについて、丁寧に操作板「手板(ていた)」の持ち方や糸を使った操作の方法を間近で教えます。子供の人数と人形の数によって全員同時に人形を持つことは出来ない場合がありますが、順番に、なるべく全員が触ったり友達があやつっている様子を見たりして、理解と興味を一層深められるようにはたらきかけます。 また、共演に向けて、WS参加者全員で大きな声で旅人の台詞を言う稽古も行い、全員で参加する意識を高めます。</p> <p>●共演形態 事前のワークショップ参加者のうちから10人の児童・生徒に、本公演の作品の一つ「東海道中膝栗毛」の冒頭で、東海道中を行き交う旅人として公演に参加します。人形のあやつりに加えて、台詞を言うことを合めた表現を体験し、公演にて発表していただけます。糸あやつり人形を使いながら、台詞を言い、演じながら公演に参加すること、また参加している友達の姿を観るという行為は、感性豊かな中小学生にかけがえの無い表現の場として提供され、そして本物の伝統芸能を身近に感じる体験となり、日本文化への興味と関心を持つことが期待されます。</p>				
出演者	<p>No.2 メンバー別添あり</p> <p>人形遣い 十三代目 結城孫三郎 三代目 両川船遊(十二代目結城孫三郎) 結城育子 湯本アキ 小貫泰明 大浦恵実 新内 多賀太夫(弾き語り)</p>				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 8 名 合 計: 15 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台		

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																										
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<table border="1" data-bbox="335 557 1367 714"> <tr> <td>前日仕込み</td><td>無</td><td>会場設営の所要時間</td><td>4.5</td><td>時間程度</td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>到着</th><th>仕込み／リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th><th></th></tr> <tr> <td>7時15分</td><td>7時30分～12時／ 12時30分～13時(開始1時間前に30分程度)</td><td>13時30分～14時50分</td><td>15分</td><td>15時10分～17時</td><td>17時30分</td><td></td></tr> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2限分程度です。</p>						前日仕込み	無	会場設営の所要時間	4.5	時間程度			到着	仕込み／リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出		7時15分	7時30分～12時／ 12時30分～13時(開始1時間前に30分程度)	13時30分～14時50分	15分	15時10分～17時	17時30分	
前日仕込み	無	会場設営の所要時間	4.5	時間程度																							
到着	仕込み／リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出																						
7時15分	7時30分～12時／ 12時30分～13時(開始1時間前に30分程度)	13時30分～14時50分	15分	15時10分～17時	17時30分																						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	1回40名程度																									
	本公演	20名～500名																									
ワークショップ実施形態及び内容	<p>人形遣い体験： 「江戸糸あやつり人形」についての歴史や基本構造、操作法などを参加する全員の児童生徒の皆様に説明の後、実体験していただきます。 ①人形の構造や手板(操作板)について、男の人形・女の人の形の違いなどを実際に人形を間近で見せながら説明します。 また、手板の糸を一本ずつ何の糸なのか説明します。 ②実際に子供たちに江戸糸あやつり人形を持ってもらい、人形遣いとしての持ち方、操作の仕方を体験していただきます。 ・正しい持ち方で持つ ・糸を持つ ・足踏みをする ・歩かせてみる ・自分の人形と友達の人形で握手をする 等 ③子供たち同士で簡単な人形芝居をして、あやつる体験と鑑賞する体験両方を経験し、体験と鑑賞への積極性を養います。</p> <p>385年の歴史ある江戸糸あやつり人形に実際に触ることで、歴史や文化、そして公演に興味関心を深めることができます。また、これまでのWSの経験上、人間の肉体よりも不自由な人形を通してコミュニケーションをすることで、人間同士にある壁が薄くなり、積極的なコミュニケーションが出来るようになることが期待できます。</p>																										
ワークショップ実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸糸あやつり人形385年の長い歴史の中で培われた人形芝居の工夫と洗練を、実際に児童生徒自らが人形に触れながら構造を知ることで、日本文化(江戸文化)への興味と関心を持ち、理解が深まり、知識と感性の向上に役立ちます。さらに、日本の歴史や文化に対する興味が増し、文化への誇りを持つことが期待できます。 ・一人で一体の人形を遣い台詞を言うことにより、舞台上での間の取り方、立ち位置など複眼的に自らを見つめることになり、同時に生徒同士息を合わせて演技を行うことにより、生徒間のコミュニケーションを深められ、また舞台芸術に親しむ機会となり芸術文化への理解と関心も深まると考えます。 ・不自由で繊細かつ複雑な動きをする人形をあやつる難しさや楽しさを体験することで、自分の身体と他人の身体の違い、日常で感じる様々な不自由に対しても気付きを得たりポジティブに捉えられたりするようになることが期待できます。 																										
特別支援学校での実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ(人形遣い体験) 身体状況によって人形や人形遣いに触れることが難しい場合でも、先生とも相談し、間近に人形を持って行き人形が生き生きと動く様を体感していただぐなど、臨機応変に対応いたします。過去の特別支援学校での経験からも、視力的に人形を見ることが難しい場合には触れていただくことや人形の動く音を聞くこと、また身体的に鑑賞する体勢がとりにくい子でもベッドに横たわりながらも触ろうと手をのばす自発的な行為などで、理解し楽しんでいることが実感できました。 ●本公演鑑賞 デジタル映像を舞台背景に投影するため、会場を暗くします。完全な暗闇でなくとも十分に鑑賞はしていただけますので、暗い所が苦手な児童生徒方がいらっしゃる場合には、稽古やリハーサル時の事前に暗さの確認をしてご判断ください。外の光が若干入るような扉や窓の近くで鑑賞することで不安を解消できる場合もございます。 字幕対応は出来ておりませんが、進行役が舞台前であらすじを交えながら親しみやすく進めて参りますので、どのようなシーンかはわかりやすいとか存じます。 																										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。																										

リンク先	No.2	【公演団体名】江戸糸あやつり人形結城座	】
		江戸糸あやつり人形の世界～江戸文化を楽しもう！～ メンバー表【出演者 経歴】	
		十三代目 結城孫三郎(じゅうさんだいめ ゆうきまごさぶろう) 十二代目結城孫三郎の長男。1985年『夢童子 ゆめ草紙』『寿獅子』にて5歳で初舞台。『寿獅子』では故・結城雪斎(十代目孫三郎)と共に仔獅子を披露。2005年『夢の浮橋～人形たちとの源氏物語』(演出:佐藤信)以降、結城座公演のすべてに参加する。2021年6月、「結城敷馬改め十三代目結城孫三郎襲名披露公演」にて十三代目結城孫三郎を襲名。 『伽羅先代萩』千松 『文七元結』藤助、甚八 『流れ傘長庵』(演出 山元清多)藤掛道之助 『乱歩・白昼夢』(作・演出 斎藤憲)「屋根裏の散歩者」郷田 『ドールズタウン』(作・演出 鄭義信)幸太 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』(弥次郎兵衛)※2020年2月劇評にて賞賛される 『十一夜 あるいは星の輝く夜に』(翻案・演出:鄭義信)ヴァイオラ、セバスチャン(双子を1人2役で演じる) 『伊達娘恋紺鹿子』八百屋お七 ほか	
		三代目 両川船遊(さんだいめ りょうかわせんゆう) 十二代目結城孫三郎、江戸糸あやつり人形結城座十代目結城孫三郎の次男として生まれ、4歳で初舞台。11歳から武智鉄二主宰、武智歌舞伎に入門。武智鉄二による台詞稽古をはじめ、他 日本の古典芸能を網羅。能は親世栄夫、狂言は茂山千之丞の教えを受けながら、人形遣いの修行を重ね、72年写し絵家元三代目両川船遊を襲名。93年十二代目結城孫三郎を襲名。2021年6月、長男に結城孫三郎の名跡を譲り、両川船遊の一つ名前に戻る。芸歴は70年以上に及ぶ。 2021年 第42回松尾芸能賞 特別賞受賞。	
		<人材育成> 古典的な江戸糸あやつり人形芝居の継承はもちろん、国内外の演劇人たちとの芝居作りも意欲的に取り組む。また後進の人形遣いたちの育成にも力を注ぎ、04年より人形遣い入門塾を開始。以降ワークショップや長期的な塾という様々な形式を通じて広く江戸糸あやつり人形の普及・啓発に努める。 <江戸写し絵> また、江戸写し絵の継承者として、写し絵公演、人形との共演による写し絵公演など写し絵の分野においても活躍。代表作に、斎藤憲書き下ろしの『乱歩・白昼夢』、子供や親子対象に『宮澤賢治の写し絵劇場』注文の多い料理店～』がある。 <海外共同制作> 02年より日仏合作作品『屏風』(作／シャン・シュネ、演出／フレデリック・フイスバック)をフランス、日本、ヨーロッパ各地で巡演を重ね、07年第61回アヴィニヨン演劇祭の開幕を飾る栄誉を得る。2010年にはフレデリック・フイスバックを再び演出に迎え『宦官提督の末裔』(作／オノ・バオ・クン、美術／ローラン・P・ベルジュ)を日本上演し、ザグレブ・ユーロカズブフェスティバル、スボレート 二つの世界フェスティバルに招待される。2014年中国・朱鷺フェスティバルに招待、上海戲劇学院にてワークショップを行う。2016年日越国際協働制作『野鶴中毒』を企画発案、主演。日本(東京)、ベトナム(ハノイ、ハイフォン)、ルーマニア(スピバ)で上演。 <代表作> ・古典 『伽羅先代萩』政岡 仁木彈正、『本朝廿四孝』八重垣姫、『綱館』真柴 実ハ 茨木童子、『伊達娘恋紺鹿子』八百屋お七 『東海道中膝栗毛』喜多八 ほか ・新作 『リチャード三世』リチャード王、『ペレアスとメリザンド』ペレアス、『ユビュ王』ユビュ、『夢の浮橋 人形たちとの源氏物語』光源氏 夕顔、『十一夜 あるいは星の輝く夜に』サー・トーピー ほか	
		結城育子(ゆうきいくこ) 大学の頃より人形浄瑠璃に関心があり、1975年に結城座へ入座。1977年のヴォイツェクの子供役が初舞台。現在では雪斎に人形を、東京に義太夫の教えを受けた唯一の座員。江戸糸あやつり人形の技を受け継ぐ人形遣いとして、日本各地で人形体験ワークショップの講師を務めている。中堅として様々な分野で座を支える中心メンバーの一人。 『新版歌舞伎 野崎村の段』久松 『文七元結』お兼 『乱歩・白昼夢』(作・演出 斎藤憲)「芋虫」須永時子 『野鶴中毒』(脚本・演出 坂手洋二)ヴエルレ 『十一夜 あるいは星の輝く夜に』マルヴォーリオ ほか	
		湯本アキ(ゆもとあき) 2013年結城座江戸糸あやつり人形遣い入門塾塾生。2014年より研修生となり、人形遣いとして活躍。 【出演作品】 『文七元結』お久 『野鶴中毒』(脚本・演出 坂手洋二)イエンセン、ヘドヴィク 『ドールズタウン』かま 『十一夜 あるいは星の輝く夜に』サー・アンドルー ほか	
		小貫泰明(おぬきやすあき) 2016年～2017年結城座江戸糸あやつり人形遣い入門塾塾生。2017年より研修生となり、人形遣いとして活躍。 【出演作品】 『文七元結』遊女 よしの 『ドールズタウン』象 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』千松 『十一夜 あるいは星の輝く夜に』オリヴィア ほか	
		大浦憲実(おおうちけんじ) 2015年～2017年結城座江戸糸あやつり人形遣い入門塾塾生。その後活動を続け、2020年より結城座研修生となる。 【出演作品】 『野鶴中毒』オーディションの結果一般参加 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』介錯 『十一夜 あるいは星の輝く夜に』オーシーノー ほか	
		【弾き語り】 新内多賀太夫(しんないたがたゆう) 6歳より父の新内仲三郎(人間国宝)に師事。1992年より新内剛士の名で舞台活動を始める。 2011年、東京藝術大学大学院博士課程修了。 2017年4月に新内節の七代目富士元派家元、新内多賀太夫を襲名。 新内節の現代を支える存在であり、さらに将来を担うことが期待される。 歌舞伎や新派公演、国立劇場、三越劇場、紀尾井ホール主催公演等に出演。 【結城座での出演作品】 『東海道中膝栗毛～赤坂並木から卯塔場まで～』 <受賞歴> 2004年 東京藝術大学常英賞 2009年 第22回 財団法人清栄会 奨励賞 2013年 第33回 松尾芸能賞 新人賞 2014年 第68回 文化庁芸術祭賞 新人賞 2015年 第65回 芸術選奨 文部科学大臣新人賞 2018年 第22回 日本伝統文化復興財団賞	

ゆうきさ
結城座とは！？

この古典の系あやつりをベースにし、
海外公演、舞台公演、音楽公演等、幅広い
活動を行っており、世界各々で高い
評価を得ています。



WERTHEM



●	出演	ゆうせん
●	結城座	ゆうきざ
●	人形遣い	にんぎょうつかい
●	結城	ゆうき
●	十三代目	じゅうさんだいめ
●	三代目	さんだいめ
●	両川	りょうかわ
●	解説	いくさく

スタッフ



江戸文化を楽しもう！～江戸人形の世界～



わが国にいわゆる文化芸術団体が、小学校、中学校等において公演し、子どもたちが優れた舞台芸術を鑑賞することにより、彼らの精神的・体力的・心靈的成長や国民芸術鑑賞能力の発達、将来の芸術家の育成、将来の芸術力の充実、コミュニケーション能力の育成、コミュニケーション能力の充実、コミュニケーション能力の充実などを目的としています。

こうえきざいたんほうじん えど いと
公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座
にわくざとう はうせざ
TEL 042-322-9750 FAX 042-322-3976

どうぞご用意ください。貢金申込書 3-18-2
事務局 0015 84-0

文化庁
国際文化会議
公益財團法人 江戸をやつり人形
SINCE1895

—巡回公演事業— 文化芸術による子供育成総合事業 令和3年度

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	E69	分野	伝統芸能	種目	人形浄瑠璃	ブロック	E	区分	A区分
公演団体名	江戸糸あやつり人形結城座				制作団体名	公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座			

① 会場条件等についての確認

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8	高さ	2
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			10m以内	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

